

協同の力で守ろう！ 「食」と「農」

パルシステム東京では、みんなで力を合わせ、安全で安心できる価値ある商品づくりや食の安全を守る運動をつくり手とともに進めてきました。

ところが、私たちの主食である米・麦・大豆を守っていた主要農作物種子法は一昨年廃止され、また、今年に入ってから遺伝子操作の新しい技術を使ったゲノム編集技術についても、環境面・食の安全面で規制しない方針が決定しています。市民団体の調査では、発がん性の疑いのある除草剤グリホサートが輸入の小麦粉から次々と検出され、ヨーロッパなどでは規制が始まっているネオニコチノイド系殺虫剤も、日本では逆に残留基準値が緩和されています。

これらの動きに対して、さまざまな市民団体や生産者、メーカーと手をたずさえ、国への意思表示や働きかけ、各地での学習会にも取り組み、その果たす今後の役割に組合内外から期待の聲が高まっています。

パルシステム東京は2020年に創立50周年を迎えます。今こそ、私たちが仲間とともに声を上げ、将来にわたって全ての子どもや大人が安全で安心なものを食べることができる社会を、協同の力で築いていきましょう。

2019年6月11日
生活協同組合パルシステム東京